

スーパー Satoka

～地球にやさしい地いきのい場所なるスーパー～

3年生 XXXXXXXXXX

夏休みにスーパーを見学した。スーパーでは、地球かんきょうのためにさまざまなおとり組みをしていることが分かった。わたしが店長になってこんなスーパーをつくりたい。

①地球にやさしいエコなスーパー

● 食品ロスをへらすために、

・日持ちがする商品を

- ・おいとう食ざい・真空パック食ざいを
ほうふいに

● 家でいでの生ごみ、食品ロスをへらすために

- ・ばら売り、はかり売りのじょう実
- ・かんたん調理の食ざいほうふいに
- ・セット食ざいのはんばい

(カレーセット、八宝菜セット、旬のおすすめメニューセットなど)

・ありがちな食ざいの使い切りメニューを
じょうほう発信

・ありがちな食ざいのほそん方ほうを
じょうほう発信

● スーパーでの食品ロスを減らすために

・きげんの近い商品のね引き

・食品ロスになってしまいそうな食品を徳たへん当のはれ売

・食品ロスになってしまいそうな食品の地いきの子ども

食どうへのきふ

- ・生ごみしてしまわずに、肥料として再生し、その肥料を地いきの小学校につかてもらう。

- ・フードドライブボックスをおく

- プラスチックごみを少なくするために

- ・ノントレーや紙トレでのはん売

- ・使いすてではないようきを使った日用品のはかり売り

- ・ポイントのもらえるリサイクルボックスのせち

→リサイクルボックスに、トレーやペットボトルびん、かんを入れると、お店で使えるポイントがもらえる。回しゅうされるものが「ゴミ」ではなく「リけん」といういしきを高めてほしい。

● そのた

- ・自転車や歩いてお店に来た人は、お店で使えるポイントがもらえる。

- ・地産地消コーナー→地産地消のよさ、

しゃんの食さいのよさを祭しん。

②地いきの人のい場になるようなスーパー

- 地いきの小中学生から作品をほしゅうしてんじつ

→たとえばかんきょう新聞、かんきょう調べ学習
エコレシピアアイデア、使いせかりレシピアアイデア
など

→地いきの小中学生もかんきょう問題や

SDGSについて勉強するきっかけになる
 →作品で感じによ、て小中学生もスーパーに行く
 と思えるようになる。

→日ごろからスーパーに買いに行くことで、
 スーパーの店員さんとも顔見知りになり、
 きんきゅうに困ったことがあったときにかける。

● 日かわり弁当のはん売

→食品ロスになってしまいうような食品を作った
 日かわり弁当をはん売する。

→お弁当はこは何でも使えるものを使用
 する。お弁当はこをへん売したら、お店
 で使えるポイントがつく。

→はん売時こくを決めてはん売し、食べる
 場所としてフードコートをしていしょうすること
 で、みんなでお弁当を食べることが
 できる子とも食とつのようなイメージ。

→宿題やぬりえ、カードゲームなども
 できる。

→夏休み、るすはんどーんてごはんを
 食べている子とももお友だちに会える。

→「夏休みはね、ちゅうしょうアラートが出
 ていることが多く、外で遊ぶこともできない
 から友だちと会うこともできない」

「4年生になったら育せい会(学章)もなく
 なるから、一日中一人で家でるすはん、
 という子ともたちのい場所となる。

→お年寄りも外に出る機会になる友だちに会える。
 こ食をふせげる。



スーパー Satoka
リサイクル
分ベツマシン

②ペットボトル、
ビン、
トレーを入れる
と自動で
分ベツする。

子どもや車いすの
人にも使いやす
入れやすい

①スーパー Satoka
のポイントカード
を入れる

③1つ入れると
1ポイント